

令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和2年3月13日
札幌市立新川中学校

1 本年度の重点目標

かかわるすべての人にとっての居場所となる学校創り

2 本年度の経営方針

- ① 学ぶ力の育成に向けた教育活動－課題探究的学習の工夫、授業中の居場所づくり、少人数指導、評価の工夫
- ② 「豊かな心」「健全な人間関係」を培う－学級・学年内での一人一人の居場所と絆づくり、体力向上、道徳充実
- ③ 「信頼される学校」の創造－教師力の向上、安全・安心な学校、学校公開・HPの活用
- ⑤ 新川中らしい教育活動の推進－学年全体での全生徒の見守り、小学校や地域との連携

3 自己評価に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校教育目標	学校教育目標や重点目標達成のため教職員の具体的な方策が設定されている。	A	目標や目指す生徒像を具現化するための実践を継続していく。	A	A
	目指す学校像・生徒像について教職員の共通理解が図られ、生徒や家庭、地域にも周知されている。	A	保護者、地域への周知は学校教育説明会や学校だより、HP等で行っており、これを継続する。	A	A
	学習指導要領や札幌市学校教育の重点の趣旨を生かし、学校の教育課題の解決を目指した教育課程が編成されている。	A	指導要領や札幌市の重点の趣旨を生かすとともに、新指導要領に向けた準備をしていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに目標の維持に努めてください。 ・先生方のご苦勞にいつも感謝いたしております。 				
学習指導	「学ぶ力育成プログラム」をもとに、基礎・基本の定着を図るため、教科ごとに学習指導計画と指導方法の工夫改善が図られている。	A	指導方法の工夫改善には今後も継続的に取り組んでいく。	A	A
	生徒一人一人の個性やよさを生かす指導や評価が工夫され、個に応じた指導が展開されている。	A	TT等の有効性が成果として出ており、今後も個に応じた指導に努める。	A	A
	基本的な学習訓練の徹底に務め、学習習慣の確立を図るとともに、学習に困り感をもっている生徒に対して補足的な指導が十分に行われている。	B	基礎的な力をつけることを重視するとともに、TTや補足的な指導、定期テスト前の補充授業などを継続していく。	B	B
	「教える教育」から「自ら学ぶ教育」への質的転換や、課題発見・課題解決を促す指導や支援が全教育活動において工夫されている。	A	今後も話し合い活動やコミュニケーショントレーニングを全学年で取り入れ自ら学ぶための基礎作りを行う。	A	A
	「健やかな身体育成プログラム」を作成し、体力づくりや運動に関心をもち、親しませる指導を工夫したり、保健・食指導を充実させている。	A	保体委員会による体力向上運動や保健体育科や養護教諭を中心に体力づくりや生命を尊重する教育の取組を進める。	A	A
	道徳や総合的な学習の時間において、計画的に指導し、外部人材なども活用し、地域の特性や生徒の興味・関心を生かした題材などが設定されている。	A	今後は道徳、総合ともにより計画的な取組を進め、外部人材も積極的に活用していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のウイルスによる一斉休校によって、学習指導のしわ寄せが先生、生徒に共通して重くのしかかってくると思うので、対応をお願いします。 ・補足的な指導に努めてください。 ・アンケートを見ると、保護者がさらに学力アップに向けての指導を望んでいるのだと感じました。生徒の皆さんの意識や意欲がもう少し高くあれば結果が良いものになっていくと思います。 ・学習に困り感をもっている生徒さんに対し、地域の人間として、お手伝いできることはないか、考えていきたいと思ひます。 				
生徒指導・進路指導	生徒の実態に応じた生徒指導（実態把握と具体的な対応等）が教職員の共通理解のもとに行われ、問題行動の早期発見・対応するための手立てが講じられている。	A	生徒情報シートを利用した実態把握をもとに、共通理解、共通指導の姿勢を継続していく。	A	A
	問題点の指摘だけではなく、よい点を伸ばすという観点からも保護者との連携がとられている。	A	今後も保護者との連携を密に図っていく。	A	A
	教育相談や進路相談などの相談活動が計画的に実施され、スクールカウンセラーとの連携も十分に行われ、いじめを防ぎ、キャリア発達が図られている。	A	相談活動や連携は、計画的かつきめ細かに行っているため継続する。	A	A

	特別な支援や配慮を必要とする生徒を把握するとともに、学びの支援委員会や関係機関と連携し、不登校傾向の生徒への適切な対応が行われている。	B	スクールカウンセラーや相談支援パートナー、関係機関等と連携をしながら対応に努めている。今後も不登校生徒の減少に努めていく。	B	B
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の生徒に対する先生方のひたむきな態度には感謝しています。ただ無理してストレスを抱え込まないように学校長の配慮をお願いします。 ・さらに目標の維持に努めてください。 ・生徒の皆さんは挨拶がしっかりでき、明るく元気な印象があります。「豊かな心」「健全な人間関係を培う」の基本的なところができていると感じています。 				
運営組織	各係、分掌において、重点目標にかかわる係目標の設定と活動の焦点化が図られている。	A	今後も年度初めに目標を明確化し、見通しを持った活動を行っていく。	A	A
	各係、分掌間の連携、調整が図られ、有機的に機能している。	A	今後も職員間の連携を密にし、有機的に機能させていく。	A	A
	職員会議、校務部会、学年会などの諸会議が効率的に運営されている。	A	計画的に実施されている。今後も会議のスリム化、効率化など働き方改革を進めていく。	A	A
	学年・学級の経営方針、目標が具体的で共通理解が図られている。	A	年度初めや研修会で共通理解が図り、実践に生かしている。	A	A
	学期ごとの具体的目標や実践のための手立てが明確になっており、継続的な実践が行われている。	A	学年会等で計画的に振り返りを行いながら継続した実践を行っていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	・そのまま継続をお願いします。				
教員研修	課題の設定が明確で目的意識を持った研修が行われている。	A	共通の課題を設定し、全教員が研究授業をもとにした討議や研究資料の提示を行っていく。	A	A
	教科部会ごとの研究・研修が充実しており、研修内容が活用されている。	B	教材研究や評価について、時間を見つけて行っていく。時間の確保が課題。	B	B
	教科を中心にとりあげた研修会が行われており、学習意欲の向上や生活習慣の向上につながっている。	A	今後も新学習指導要領の実施に向けた研修が必要である。	A	A
	校外の研修に積極的に参加し、その研修成果が自校の研修に活かされている。	B	官制研修以外にも積極的に研修に参加するよう呼びかけるとともに、成果の共有化をはかる。	B	B
	研修資料の収集、整理、保管がしっかりしており、十分に活用されている。	B	特にコンピュータ内の資料や情報の整理、保管を見直していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しい中、教職員の皆様はよく考え実行していると思っています。 ・研修のさらなる活用を期待します。 				
開かれた学校	関係小学校、近隣中学校、進学先高等学校等との連携が図られている。	A	良好な関係が保たれており、今後も密な連携を継続する。	A	A
	関係機関との連携が図られている。	A	現在の連携を今後も継続する。	A	A
	家庭への連絡をきめ細かく行い、家庭との連携が図られ、保護者や地域に素早く誠実に対応している。	A	担任を中心にきめ細かな対応ができているので、今後も継続していく。	A	A
	授業公開などを定期的実施している。	A	年4回実施し、土曜参観も行っている。今後は、参観の人数をさらに増やす工夫をしていく。	A	A
	学校だよりが地域に配付され、ホームページなども利用して学校教育への理解を図っている。	A	今後もHPや回覧板で地域の方々が見られるようにしていく。PTAメールも積極的に活用していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	・地域と連携が図られ、目標である開かれた学校を目指して取り組んでいる状況が目に見えます。ホームページはよく見えています。				